

産総研と地域企業

産業振興で連携



ケミカル山本

®

サポイン採択

ケミカル山本（広島市佐伯区）は、ステンレスの溶接に伴う酸化膜除去（焼け取り）の際に、劇毒物の使用を抑制され、ステンレスの電解を安全無害化するなど、さまざまな表面改質技術を持つ研究開発型企業。

仕組み説明

産業省の「戦略的基盤技術高度化支援事業」（サポイン事業）に応募し、採択された。

ステンレスの耐食性改善

産業省の「戦略的基盤技術高度化支援事業」

力腐食割れが生じるという致命的な欠点がある。

改質という新技術の実用化を目的とした。

食性向上メカニズムの解明をお願いした。

採用された事業で、この欠点を解消するため、不動態皮膜の

不動態皮膜改質技術による耐食性の改善について、孔食試験結果な

を求めたところ、電解



どの証拠を示すにとどまり、理論面での詰めが十分でなかったため、産総研のXPPS分析を、広島工業大学に耐ステンレスの延命治療作業

産総研イノベーション推進部 地域連携推進部 中小企業連携室 鈴木 孝和

一言メッセージ

省資源・省エネに資する重要な技術の価値を十分に認識してもらい、新規性を付与して国への提案にこぎつけた。山本社長

実用化達成

この他に添加元素をはじめ電解液成分配合の適正化、鋼種別、仕上がり別の電解処理条件の適正化を図り、電解式不動態皮膜改質技術の実用化を達成した。現在、当社ではステンレス製プラントや機器類の不動態皮膜の有無や良否を判別する健康診断と不動態皮膜を

（木曜日に掲載）

電解式不動態皮膜改質技術

ケミカル山本（広島市佐伯区）は、ステンレスの溶接に伴う酸化膜除去（焼け取り）の際に、劇毒物の使用を抑制され、ステンレスの電解を安全無害化するなど、さまざまな表面改質技術を持つ研究開発型企業。

その支援を受けて経済

産業技術総合研究所が、この技術に注目し、塩素イオンを含む溶液や環境によってステンレスに孔食や応

力腐食割れが生じると

改質という新技術の実用化を目的とした。

食性向上メカニズムの解明をお願いした。

不動態皮膜改質技術による耐食性の改善について、孔食試験結果な

を求めたところ、電解